大　樹

学校だより NO.9 令和8年11月24日

【学校教育目標】
心身ともに健康で、自ら学び、高め合い、
自立する陵北っ子の育成
～ 一人一人を輝かせる教育の実践 ～

心を一つに響かせた音色 ～協力と挑戦で創り上げた最高のステージ～



１０月２９日（木）・３１日（土）の２日間にわたり、校内音楽会および保護者鑑賞会を開催いたしました。ご多用の中、たくさんの皆様にご来場いただき、子どもたちに温かい拍手を送っていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

この音楽会に向け、子どもたちは「自分たちの音楽を輝かせること」「聴いてくださる人の心を動かすこと」を目指し、日々練習を重ねてまいりました。友達と声を合わせ、互いの楽器の音を大切に重ね合わせる中で、「みんなで音を創り上げる楽しさ」や「協力することの心地よさ」を体感していったように感じます。

本番では、「心を一つにやり抜く」ことを大切に、緊張感を乗り越えて練習の成果を堂々と発揮してくれました。やり切った表情と、会場からの温かい拍手は、子どもたちの心に大きな自信という財産を残したはずです。

ひとつひとつの大きな行事を経験するたびに、子どもたちは仲間と共に一回り大きく成長していきます。今後とも、温かな見守りとご支援をよろしくお願いいたします。

♫ 各学年のステージから

１年生・・・はじめての音楽会とは思えないほど元気いっぱいに歌い、聴いている人まで笑顔にしてくれました。「だれにだっておたんじょうび」と「さんぽ」から、“音楽って楽しい！”という素直な気持ちがしっかり伝わってきました。

２年生・・・「たいようのサンバ」という題名のとおり、明るい歌声で体育館いっぱいに笑顔の花を咲かせてくれました。「エル・クンバンチェロ」もとても楽しそうで、聴いているこちらも思わず体が動き出しそうでした。

３年生・・・「Jump!」で友達を想う気持ちをとてもきれいに歌っていましたね。「花笛」や「ドラえもん」は、音がぴったり合っていて、“みんなで音を合わせる楽しさ”がよく伝わってきました。

４年生・・・「大切なもの」のまっすぐな歌声で“がんばる力”や“前を向く気持ち”を届けてくれました。「絆ノ奇跡」では迫力のある合奏を披露し、力強さと集中の深さが光っていました。

５年生・・・自然学校を経て一回りたくましくなった５年生。「Change!」では壮大な世界を豊かなハーモニーで表現し、「アラジンメドレー」では軽快で大人っぽいリズム感を魅せてくれました。さすが高学年、音のまとまりと表現力がぐんと深まりました。

６年生・・・「サザンカ」の合唱は、聴いている人みんなの心に深く届く美しいハーモニーでした。これまでの思い出と未来への希望があふれ、胸が熱くなりました。「英雄の証」では堂々とした姿で締めくくり、まさに全校の目標となる“最高峰のステージ”を見せてくれました。

